

令和 8 年度 社会学科総合型選抜第 2 次選考の説明

日本大学文理学部社会学科

第 2 次選考ではプレゼンテーションと面接による選考を行います。

1. プレゼンテーションについて

面接官（3 名）の前でプレゼンテーションを行います。プレゼンテーションのテーマは、「自身のこれまでの活動と社会学科での学びとの関連性」です。出願書類に記入したご自身のこれまでの特筆すべき活動についての説明をした上で、それらの活動と社会学科での学びとの関連性について説明して下さい。

発表は日本語で行い、発表時間は 10 分間以内です。10 分を超えた場合は、途中でもプレゼンテーションを中止していただく場合があります。

選考当日は、紙に印刷したプレゼンテーション用の資料を 4 部ご用意ください。うち、3 部を会場で見学官に配付していただき、プレゼンテーションを始めていただきます。会場にはホワイトボードがあり、模造紙などに書いた文書を貼ることも可能です。希望があれば、オンスクリーン・プレゼンテーション（ディスプレイへの映写）も可能ですが、その場合は以下の点に留意して下さい。

<オンスクリーン・プレゼンテーション希望の場合の注意点>

- ・Windows11 の PC 上で読み取りが可能な USB メモリに、プレゼン用の資料のファイルを保存した上で持参すること。PDF ファイルと PowerPoint 形式のファイルが使用可能なアプリは PC にインストールされています。
- ・動画を使用したい場合は、本学が用意した PC の動画再生ソフトが動画のフォーマットに対応していない場合がありますので、YouTube などのオンラインの動画再生クラウドにあらかじめ動画ファイルを保存し、リンクから動画を再生できる状態にして下さい。
- ・PC 等の機材を持参することは可能ですが、動作保証はいたしかねますので、必ず USB メモリにファイルを保存するとともに、紙に印刷した配付資料でも説明ができるように準備をして下さい。
- ・PC とプロジェクタの接続は、標準的な HDMI ケーブルで行います。USB-C による接続や無線での接続は行えません。
- ・持参された PC での映写の準備が一定時間（5 分程度）を超える場合は、オンスクリーン・プレゼンテーションではなく、配付資料での説明に切り替えていただきます。
- ・持参した PC の画面を面接官に提示することは可能ですが、電池切れや無線 LAN 接続の不良など、機材のトラブルは起こりうる事態なので、原則は紙に印刷した配付資料でのプレゼンテーションを念頭に置いて下さい。
- ・本学は機材のトラブルに関する責任を一切負いません。

2. 面接について

プレゼンテーションの後、面接官が質問します。面接では、①出願書類に書かれている内容、②プレゼンテーションの内容を中心に質問をします。出願書類の内容を自身で整理した上で、面接に臨んで下さい。面接時間は 15 分～20 分程度です。途中、体調不良等が生じた場合は、面接官に申し出て下さい。

以上